



## はじめに

当市には都市間市民交流協会がある。昨年度から再入会して、オンタリオ市から来る人たちと交流を開始した。2013年は大阪狭山市ーオンタリオ市姉妹都市提携をしてから40周年を迎えた。この6月に11人が当市に來られて、歓迎会があり出席した。その時に10月のオンタリオ市での式典には参加すると約束していた。また、元府議の古川安男氏の誘いもあり視察団とは別途に参加することになった。

### 1) オンタリオ市と大阪狭山市との姉妹都市提携について

41年前の1974年10月に、当時の吉川町長の決断により、米国オレゴン州のオンタリオ市と姉妹都市提携をした。先見の明があったのだ。その後、毎年、市民や学生の交換活動が続き、双方で延べ各500人余りが交流している。当初からこの提携に関わり、その後40年間、尽力された古川安男氏の言によれば、吉川町長がこの提携を決断したのは、先ず第1番目にはオンタリオ市は田園都市で、住民を派遣しても安全である。2番目に日系アメリカ人が多く住み、ホームステイしても日本語が通じる。日系人には昔の日本の「おもてなし」の心があることだった。

### 2) 記念式典(日本)への出席

今年(2013年)6月にオンタリオ市民11名が当市を訪問し、16日には40周年記念祝賀会がサヤカホールで開催されて出席した。訪問者の中に団長格で参加していたMr. Mattにもお会いし、10月の訪米の可能性を話しておいた。

### 3) 2013年10月米国での記念式典への出席

交流協会が10月の訪問団を募集したが、その強行スケジュールには不満があったので、少し余裕のある日程の企画に賛同し、別途3名で参加することになった。オンタリオ市での滞在を伸ばし、帰途にはハワイに立ち寄る日程であった。

## 4) 関空から出発

旅程は10月1日に関空を出発し、サンフランシスコ(SFO)経由でボイジー空港へ行くルート。オンタリオ市はオレゴン州の東端に位置し、ボイジー空港(アイダホ州)からは車で1時間の距離である。帰途はボイジー空港からSFO経由でホノルルへ立ち寄る計画だった。

## 5) 関空でのハプニング

10月1日、古川氏、上谷氏、と小生の3人で南海電車を利用して関空(KIX)へ行く。空港での円→ドルの換算レートは1ドル=100円だった。税関・移民局の検査は昔と比べて厳しい。手荷物として持って中に入れていた岩ノリの瓶の内容積が100CC以上だから持って行けないとの検査官の指示があった。ほんの10gのオーバーなのに、送り返せという。古川氏はこの説明に納得せず、やり取りが長引いたが、最終的に機長託送の形で落ち着いた。

## 6) シアトル経由ボイシー空港へ

飛行機は時間通りにSFO空港に着陸した。最近のエコノミークラスにも小型のモニターがある。航空運賃が安くなるのは有り難いが、乗務員のサービスが悪くなったのは残念だ。最後尾のトイレから席へ戻る時に、食事を運ぶカートに邪魔されたので、すり抜けようとしたら、「待て。私は仕事をしているのだ」ときつく言われた。飛行機の旅は数多く経験しているのだが、きつい口調で言われたのは初めて。因みに、この大柄な白人のおばさんはUnitedのスタッフ。SFOまでの飛行は大圏航路をとる。東行きは追い風(tail wind)に乗るので西向きより飛行時間が少ない。国内線ターミナルの入場チェックは厳しくてボディタッチの上に、靴まで脱がされた。

## 7) ボイシー空港での迎え

オンタリオ市には空港がないので、隣のアイダホ州のボイシー空港を利用。州を跨っているが、自動車ですぐの距離だ。瓜生夫妻や前市長